

第10期(平成21年3月期)  
さくらインターネット株式会社  
決算説明会

平成21年5月28日

代表取締役 社長

田中 邦裕

## ご注意

当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基づいており、その情報の正確性を保証するものではありません。

さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

- 会社概要
- 第10期の決算概要
  - 第10期のトピックス
  - 経営成績
  - 財政状態
  - キャッシュ・フロー
- 今後の展望
  - 第11期の取組
  - 第11期の業績予想
  - 今後3期の見通し

## 会社概要

## 商号

さくらインターネット株式会社 (SAKURA Internet Inc.)

## 本社

大阪市中央区南本町一丁目8番14号

## 設立

平成11年8月 (サービス開始は平成8年12月)

## 事業内容

インターネットへの接続サービスの提供  
インターネットでのサーバの設置及びその管理業務  
電気通信事業法に基づく電気通信事業 など

## 取締役

代表取締役 社長	田中 邦裕
取締役 副社長	舘野 正明
取締役	鷺北 賢
取締役	川田 正貴
取締役 (社外)	瓦谷 晋一

## 資本金

8億9,530万円 (平成21年3月末日現在)

## 従業員数

174名 (平成21年3月末日現在)

## 第10期の決算概要

# 第10期のトピックス

平成20年4月	<ul style="list-style-type: none"><li>専用サーバサービス エントリープランの提供開始</li></ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"><li>株式会社朝日ネットと業務提携を 締結</li><li>バックボーンネットワーク容量の 追加増強(128Gbps → 137Gbps)</li></ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>繰越利益剰余金の欠損填補の 実施</li></ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"><li>専用サーバサービス NEC省エネ型サーバを採用</li><li>バックボーンネットワーク容量の 追加増強(137Gbps → 146Gbps)</li></ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"><li>堂島データセンター、 代官山データセンターの ハウジングスペースを増設</li><li>サンシャインデータセンターの 機能を他のデータセンターに 移転</li><li>短期借入金を完済</li></ul>

平成20年10月	<ul style="list-style-type: none"><li>ハウジング運用保守サービスの 提供開始</li></ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"><li>バックボーンネットワーク容量の 追加増強(146Gbps → 166Gbps)</li><li>専用サーバサービス 料金体系の変更と複数台構成 サービスの提供開始</li><li>レンタルサーバサービス HDD容量の増強など</li></ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"><li>西新宿データセンターに 電源障害発生</li></ul>
平成21年1月	<ul style="list-style-type: none"><li>平成21年3月期の復配を発表</li></ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"><li>レンタルサーバサービス ビジネスプランと新機能の 提供開始</li><li>堂島データセンター ホスティング専用フロアを増床</li></ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"><li>専用サーバサービス HDD容量の増強など</li></ul>

# 経営成績(概況)

(単位:百万円)

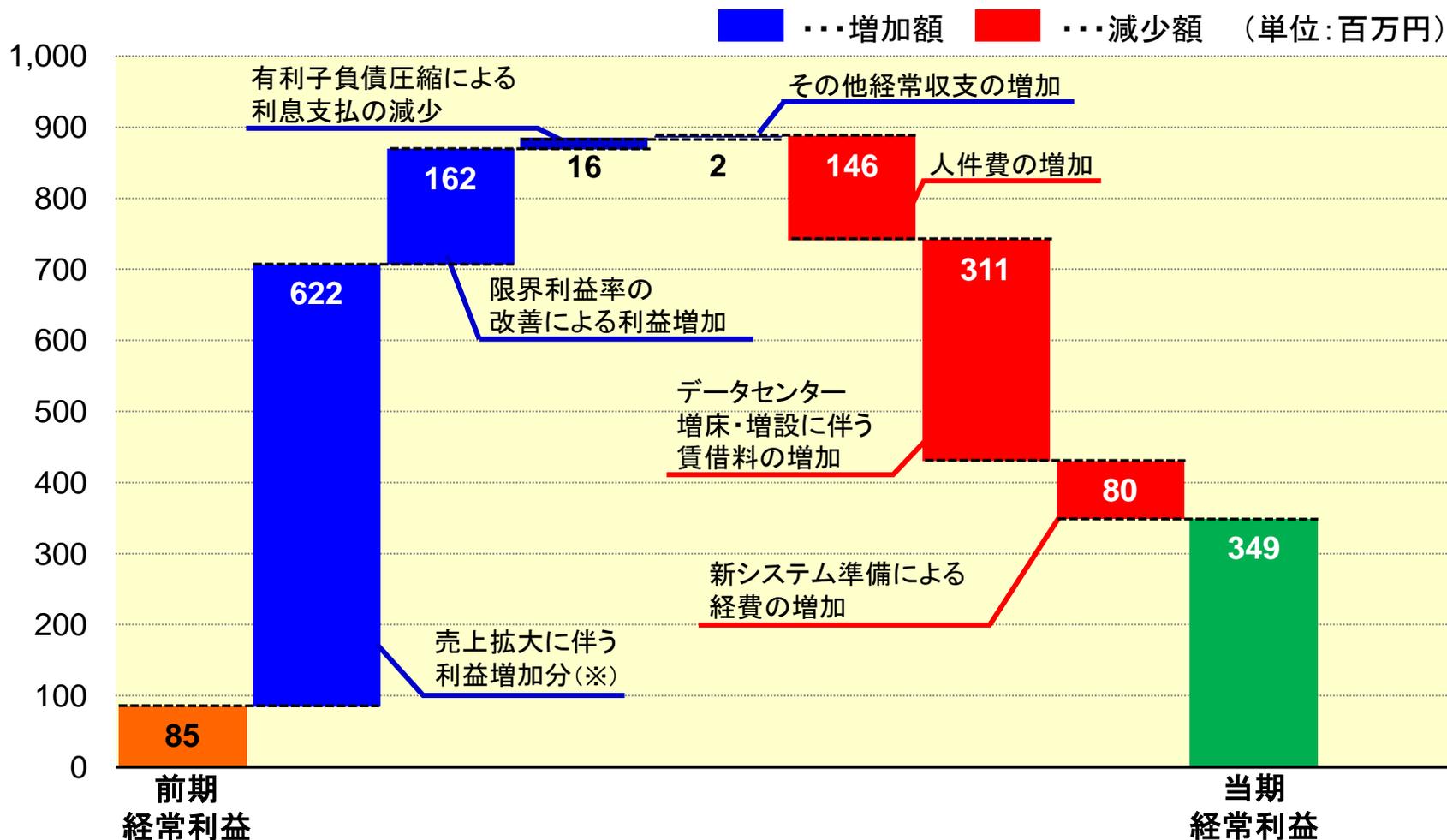
	当期実績 (H21/3)	前期実績 (H20/3)	増減額	増減率	主な要因
売上高	7,106	6,204	901	14.5%	・ 継続的なサービス強化により、 ホスティング、ハウジングとも に堅調に推移
売上総利益	1,835	1,523	311	20.5%	・ データセンターの運営効率が 改善
営業利益	392	143	248	172.6%	・ 不採算事業の整理圧縮 ・ 販管費の増加を抑制
経常利益	349	85	264	310.1%	・ 有利子負債の圧縮により、 支払利息が減少
当期純利益	374	△ 619	993	—	・ 前期に比べて特別損失が 大幅に減少 ・ 法人税等調整額の計上

# 経営成績(予算比較)

(単位:百万円)

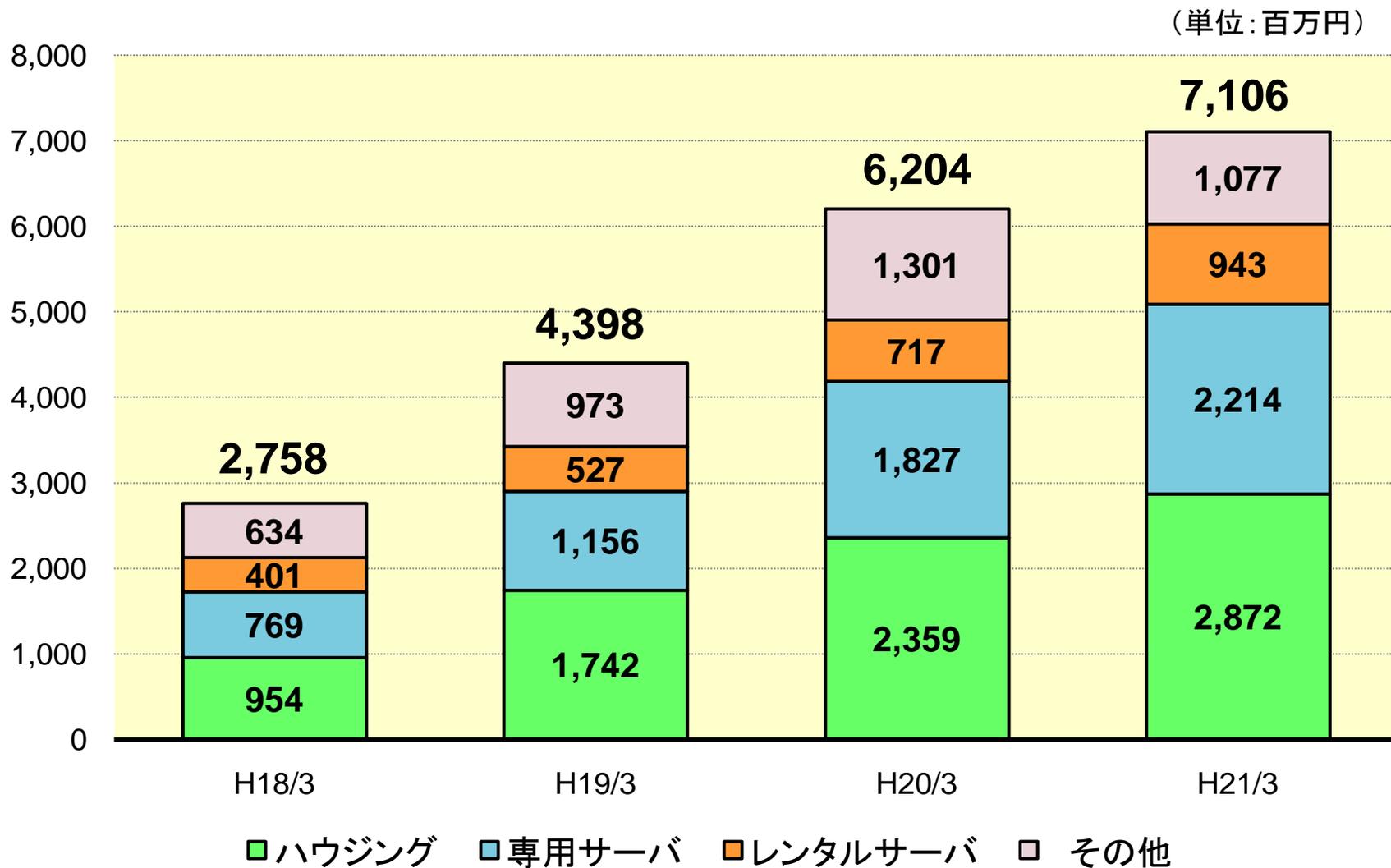
	当期実績 (H21/3)	当期予想	増減額	達成率	主な要因
売上高	7,106	7,150	△ 43	99.4%	・ 厳しい市場環境の中、期初予想より下回ったが、修正予想はおおよそ達成
営業利益	392	325	67	120.7%	・ 収益性の高いホスティングの売上伸長による利益増大
経常利益	349	280	69	124.8%	・ データセンターの運営効率および業務効率の改善による利益増大
当期純利益	374	300	74	124.7%	・ 予想を上回る法人税等調整額の影響

# 経営成績(損益要因分析)



(※) 限界利益率が前期と同率だったと仮定し、売上増に牽引されて増加する利益額

# 経営成績(売上高推移)

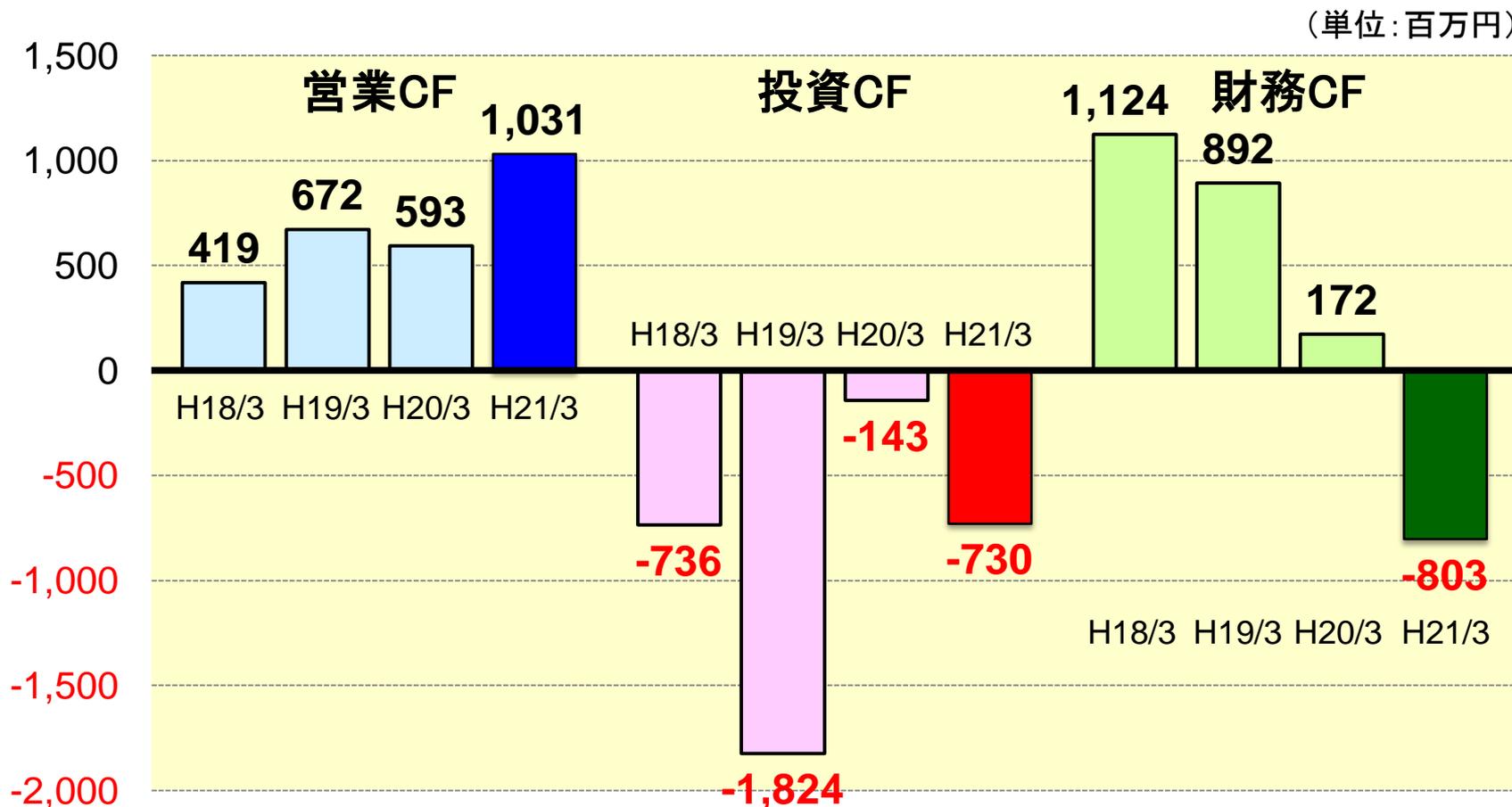


# 財政状態(概況)

(単位:百万円)

	当期末 (H21/3)	前期末 (H20/3)	増減額	増減率	主な要因
総資産	4,791	5,097	△ 306	△6.0%	・ 有利子負債の圧縮に伴う、 現金及び預金の減少
負債	3,477	4,165	△ 687	△16.5%	・ 借入金の減少 (短期借入金の完済) ・ 固定資産の現金購入および 新規リースの抑制
(うち有利子負債)	1,563	2,340	△ 777	△33.2%	
純資産	1,313	932	381	40.9%	・ 当期純利益の計上
(うち自己資本)	1,253	878	374	42.6%	

# キャッシュ・フロー(概況)



(※) H18/3～H20/3の数値は連結ベース、H21/3の数値は単体ベースの数値

## 今後の展望

## データセンターに関する取組

- 西新宿データセンターの設備更新  
データセンターのさらなる安定運営に向け、西新宿データセンターの設備を更新
- データセンターの統廃合  
設備が老朽化したデータセンターの統廃合を進め、運営効率の最適化と提供品質の向上を図る

## 販売面の強化

- 提携先との協力体制強化  
双日グループをはじめとする提携先とのアライアンスを強化し、拡大する一般企業のアウトソーシング需要を取り込む
- インバウンド受注体制の強化  
積極的な広告宣伝の実施によりサービス認知度を向上させるとともに、コールセンター機能の拡充により成約率の向上を図る

## 組織改編（3部門の新設）

### ➤ 開発部

市場の中心である東京に開発スタッフを集約し、サービスメニューの拡充と開発スピードの向上に取り組む

### ➤ さくらインターネット研究所

新たな技術の研究開発を通じて、社会への貢献と、さらなる当社の成長・発展を目指す

### ➤ 経営企画室

経営管理手法の再構築、計数管理の高度化および各種プロジェクトの推進など、経営管理体制の強化を図る

## 業務効率の改善

### ➤ 販売管理システムの更新

販売管理システムを更新し、業務フローの効率性を向上させる

# 第11期の業績予想

(単位:百万円)

	当期実績 (H21/3)	次期予想 (H22/3)	増減額	増減率	主な要因
売上高	7,106	7,700	593	8.3%	ホスティングを中心に売上が伸張すると予想
営業利益	392	400	7	1.9%	以下による経費の増加 ①データセンター統廃合 ②販売力強化 ③組織改編に伴う拠点集約など
経常利益	349	380	30	8.8%	
当期純利益	374	320	△54	△14.5%	当期の増加要因であった法人税等調整額が減少

当社は第11期を第二創業期の初年度と位置づけ、  
安定的かつ持続的な成長を実現するための各種施策を実行していきます。

# 今後3期の見通し

(単位:百万円)

	当期実績 (H21/3)	第11期予想 (H22/3)	第12期予想 (H23/3)	第13期予想 (H24/3)
売上高	7,106	7,700	8,800	10,000
経常利益	349	380	700	1,000

## [ 目標 ]

第13期に売上高100億円、経常利益10億円の達成